

夢・目標をもち瞳かがやく平川っ子の育成

# 大杉だより

NO24 3月24日号

平川中 美・礼・時+A

志を支え、才を育む 愛があふれた学校を目指して

Mail : hira-j@yamaguchi-ygc.ed.jp

URL : <https://www.yamaguchi-ygc.ed.jp/hira-j>

☎ 924-7700

新型コロナウイルス感染症のため、1年間延期されていた東京2020オリンピック聖火リレーが、いよいよ明日、福島県をスタートします。しかしながら、新型コロナウイルス感染症蔓延対策の観点から、イベントの縮小や沿道での感染対策がとられることとなっています。

本県は5月13日(木)~14日(金)に13市を巡ることになっており、山口市は13日に瑠璃光寺五重塔前をスタートし、中央公園がゴールとなります。聖火リレーは、オリンピックの開催を肌で感じる事ができる最大イベントです。どのようなイベントになるか今から楽しみです。

## 整然とした卒業証書授与式

3月11日(木)第31回卒業証書授与式が挙行されました。新型コロナウイルス感染症蔓延対策として、会場の広さを考慮し、卒業生とその保護者、在校生の代表者7名、来賓1名、教員が出席する式となりました。卒業生は立派な姿勢で臨み、義務教育を締めくくるにふさわしい緊張感の中でも温かな雰囲気で開催することができました。

在校生を代表して生徒会副会長の桑原さんが「先輩方は、前向きな心で目の前のすべきことに全力を注いでこられました。その歩みを誇りに、堂々と自分の良さを発揮してください。」と送辞を述べました。

それに応え、卒業生を代表して、前生徒会長の小迫くんが「この一年を通して、改めてありふれた日常の愛おしさに気づかされました。他愛もないことで言い争い、それでも最後は笑い合える、そんな当たり前の幸せを深く感じる事ができました。今、私たちは、それぞれが選び、切り拓いた道を進もうとしています。その道の先で、一人ひとりが明るい未来を掴みたいと思っています。そこに、例え、困難が待ち受けていようとも、この平川中学校で過ごした三年間を力に変え、次の扉をノックし続けていきます。」と答辞を述べました。

卒業生が校舎を後にするときには、式に出席が叶わなかった在校生が2階と3階から盛大な拍手で送りました。



この度の式に際しては、ボランティアの田代さんによる生け花と、JAグループ山口から各教室への生花の寄贈により、文字通り式に花を添えました。



## 最高学年としての自覚と将来への生きる目標を立てた「立志の会」

3月18日（木）、「立志の会」を開催しました。立志式とは、三省堂大辞林によれば、「元服にちなんで（数え年の）15歳を祝う行事。参加者は、将来の決意や目標などを明らかにすることで、大人になる自覚を深める。」と書かれています。本校では、2年生が学校近くにある廣澤寺において、坐禅を通して、将来の生きる目標を立てました。



和尚さんから立志にあたって、次のような講話がありました。

- 勉強は何のためにするのか。それは、岐路に立ったときに正しい判断をするためである。
- 人は、何年生きたではなく、どう生きたかが大切である。
- 命は代々受け継がれている。生きるために、命をいただいている。世の中のすべての人、ものがあなたたちを支えている。だから、感謝し、精進し、大事に生きなくてはならない。



また、坐禅は、「調身」「調息」「調心」の修行である。正しい姿勢で、呼吸を整え、心を整えることであると説明がありました。加えて「人はいろんなことを言います。坐禅を行っているときにもその言葉が頭を巡ると思います。人の言葉に心を乱すことなく、心を整えてほしい。」との助言があり、坐禅に入りました。生徒は、心を落ち着け、自分と向き合いました。

また、坐禅は、「調身」「調息」「調心」の修行である。正しい姿勢で、呼吸を整え、心を整えることであると説明がありました。加えて「人はいろんなことを言います。坐禅を行っているときにもその言葉が頭を巡ると思います。人の言葉に心を乱すことなく、心を整えてほしい。」との助言があり、坐禅に入りました。生徒は、心を落ち着け、自分と向き合いました。



## 地震火災避難訓練実施

3月19日（金）、地震発生によって発生した火災を想定した避難訓練を行いました。東日本大震災から10年目となる今年は、地域での防災意識の高まりや訓練の重要性が報道されており、生徒は真剣に訓練に参加しました。グラウンドに避難した後は、消防士の方から消火器の使用方法的説明の後、訓練用の水消火器を用いて、各クラス代表者2名が消火訓練を行いました。



県防災アドバイザーの板谷さんから、訓練を総括し次の講話がありました。

- ◇火災の避難時には、マスクやハンカチで口を覆い、体を低くして逃げる。
- ◇家庭では、非常持ち出し袋を準備しておく。
- ◇逃げるときに慌てないように、靴はつま先を出口に向けて脱いでおく。
- ◇避難後は、人員の確認を目に見える形で行う。

災害はいつ、どこで発生するか分かりません。自分の身を守るためにも、しっかりと心と物の準備をしておくことが重要だと改めて感じる訓練となりました。

## コロナ感染対策 加湿空気清浄機購入

新型コロナウイルス感染防止対策として、各教室に加湿空気清浄機を購入しました。購入にあたっては、市の費用と平川まつり芳志金を活用させていただきました。たいへんありがとうございました。

